

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	ごみ減量化リサイクル事業					担当課	生活環境課				
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	環境係			
施策項目	5	ごみ処理					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	1	ごみの減量化・資源化の推進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	4	2	1	清掃総務費						

目的と方針 【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	環境への負荷の少ない循環型社会を構築していくため、ごみの減量化・資源化を推進します。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民及び市内の業者	意図 【PLAN】	市民及び市内の事業者から排出されるごみの量を減らす。
--------------	-----------	--------------	----------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	ごみとして排出されるものを可能な限り、再使用、再生利用に回す。
----------------------	---------------------------------

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	516	1,173	1,014			
	一般財源	千円	36,616	37,917	35,505			
	事業費合計	千円	37,132	39,090	36,519			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市民1人1日当たりのごみ排出量	g	実績値が目標値	目標値	1,121	1,058	995	932	871
		以下	実績値	1,077 (見込値)				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	ごみの排出量は災害やコロナ禍の影響により増加しており、喫緊の課題であるため、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	ダンボールコンポストモニター事業では、615kgのごみを削減することができ、市民からも好評を得た。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	できる限り費用をかけない方法を検討しながら事業を実施した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和5年度はダンボールコンポストモニター事業を実施し、市民のごみ問題に対する意識醸成を行った。今後も引き続き、効率的な方法を検討しながら事業を進めていきたい。
------------	----	-------------------------	---

整理番号
36

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	廃棄物再資源化支援事業				担当課	生活環境課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	環境係
施策項目	5	ごみ処理			計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	ごみの減量化・資源化の推進			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	2	1	廃棄物再資源化支援事業費	

目的と方針【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。					
-------------	---	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	ごみの減量及び資源の有効利用を図るため、集団資源回収を実施している団体に報償金を交付します。					
------------	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市内で活動する町内会、PTA、子供会等の団体（市民）	意図【PLAN】	古紙を回収し、再び紙製品として利用することによって、可燃ごみの発生量を減少させる。			
----------	----------------------------	----------	---	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民のリサイクル意識の向上。					
----------------------	----------------	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		1,100	774	1,045			
	事業費合計	千円		1,100	774	1,045			

（1）伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
リサイクル率（資源化率）	%	実績値が目標値以上となること	目標値	12.7	14.5	16.3	18.1	20.0
			実績値	12.0（見込値）				
			達成率	94.5%				

（2）チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	最近はスーパー等の民間事業所でも回収を始めていることもあり、申請件数はやや減少傾向にある。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民がごみ問題へ関心を持つきっかけのほか、地域の団体活動の推進を図ることができる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	令和5年度より申請手続きを簡易化し、事務の効率化を行った。

（3）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	申請団体が固定化している現状がある。新規団体の獲得に向け、アンケート調査の結果も踏まえながら、事業を進めていきたい。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
37

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	一般廃棄物収集運搬事業					担当課	生活環境課		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	環境係	
施策項目	5	ごみ処理					計画期間	令和５年度　～　令和７年度	
主な取組	2	ごみ収集運搬・処理体制の充実					事業区分	一部委託	
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	一般	4	2	2	一般廃棄物収集運搬事業（保原総合支所）（ごみ処理）				

目的と方針【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。		
事業概要【PLAN】	一般廃棄物の適正処理及び再資源化の推進を図ることで、自然と共生するまちづくりを目指します。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	ごみ収集運搬を実施することにより、市民の生活環境を維持する。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	安定的なごみ収集運搬体制を維持する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		1,330	936	1,340			
	一般財源	千円		95,050	99,014	104,174			
	事業費合計	千円		96,380	99,950	105,514			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
市民1人1日当たりのごみ排出量	g	実績値が目標値以下となること	目標値	1,121	1,058	995	932	871	
			実績値	1,077 (見込値)					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				市民生活の維持に必須となる事業である。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				市民生活の維持に必須となる事業である。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				委託業者の作業量の確認等により、委託料算定の精査を行った。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		市民生活の維持に必須となる事業であるが、委託料が毎年増加している傾向もあるので、引き続き委託料算定の精査を行う。					

整理番号
38

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	広域ごみ処理施設運営事業				担当課	生活環境課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	環境係
施策項目	5	ごみ処理			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	2	ごみ収集運搬・処理体制の充実			事業区分	その他
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	2	2	広域ごみ処理施設運営事業	

目的と方針【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。		
事業概要【PLAN】	伊達地方衛生処理組合へのごみ処理費用負担金		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	ごみの適正な処理と、周辺環境に配慮したごみ処理施設の維持管理
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	ごみの減量及び適正な分別の啓発と、適切な運転管理の徹底		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		215,263	248,838	296,814			
	事業費合計	千円		215,263	248,838	296,814			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
市民1人1日当たりのごみ排出量	g	実績値が目標値以下となること	目標値	1,121	1,058	995	932	871	
			実績値	1,077 (見込値)					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				市民生活の維持に必須となる事業である。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				市民生活の維持に必須となる事業である。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				効率性を図るべく、新ごみ焼却施設建設の検討にあたっては、構成市町との協議、及び施設周辺地域住民との合計形成に向けた説明会等を開催している。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		施設の老朽化による新ごみ焼却施設の整備が予定されている中で、新施設稼働までの間、現有施設の安定稼働の確保を図る必要がある。					

整理番号
39

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	不法投棄防止活動事業				担当課	生活環境課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	環境係
施策項目	5	ごみ処理			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	3	ごみの不法投棄の防止			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	一般	4	1	4	生活環境対策事業（環境保全）	

目的と方針【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。		
事業概要【PLAN】	不法投棄による環境悪化を未然に防止するため、環境意識の啓発を行うとともに、廃棄物不法投棄監視員による巡視、および不法投棄多発個所へのカメラや看板の設置を行います。		
対象【PLAN】	不法投棄者、市民	意図【PLAN】	不法投棄をしていた者がルールに従って、廃棄物を排出するようになる。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	環境意識の啓発		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		1,489	1,436	1,472			
	事業費合計	千円		1,489	1,436	1,472			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
不法投棄搬入物件数	件	実績値が目標値以下となること	目標値	158	144	130	116	100	
			実績値	302					
			達成率	52.3%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				市民が暮らす生活環境の維持・向上に直結する事業であり、優先度は高い。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				地域の景観の維持に繋がるため、社会貢献度は高い。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				市による現場確認や、委託業務内容の見直しにより業務の効率化を図った。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		環境意識の啓発を継続し、不法投棄の削減に努める。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	ごみ減量化リサイクル事業（再掲）					担当課	生活環境課				
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	環境係			
施策項目	5	ごみ処理					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	4	食品ロス削減の推進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	一般	4	2	1	清掃総務費						

目的と方針 【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	環境への負荷の少ない循環型社会を構築していくため、ごみの減量化・資源化を推進します。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民及び市内の事業者	意図 【PLAN】	市民及び市内の事業者から排出されるごみの量を減らす。
--------------	------------	--------------	----------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	ごみとして排出されるものを可能な限り、再使用、再生利用に回す。
----------------------	---------------------------------

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	422	1,173	1,014			
	一般財源	千円	34,329	37,917	35,505			
	事業費合計	千円	34,751	39,090	36,519			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市民1人1日当たりのごみ排出量	g	実績値が目標値以下となること	目標値	1,148	1,078	1,008	938	871
			実績値	1,077 (見込値)				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	ごみに関する問い合わせは常時発生しており優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	市民からの問い合わせに直接対応する業務であり貢献度は高い。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	ごみ減量に関する広報紙などでの周知のほか、日時を決めて、古着回収イベントや食品ロス削減イベントを開催するなど、効率的な事業実施に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	伊達地方衛生処理組合構成市町のいずれもが、県内における一人一日当たりのごみの排出量のワースト10に入っており、ごみ減量化に係る施策の実施にあたっては、足並みをそろえて協議・実施していく必要がある。
------------	----	-------------------------	--

整理番号
41

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	廃棄物再資源化支援事業（再掲）					担当課	生活環境課		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	環境係	
施策項目	5	ごみ処理					計画期間	令和５年度　～　令和７年度	
主な取組	4	食品ロス削減の推進					事業区分	直営	
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	一般	4	2	1	廃棄物減量化再資源化事業費				

目的と方針【PLAN】	環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。		
事業概要【PLAN】	ごみの減量及び資源の有効利用を図るため、集団資源回収を実施している団体に報償金を交付します。		
対象【PLAN】	市内で活動する町内会、ＰＴＡ、子供会等の団体（市民）	意図【PLAN】	古紙を回収し、再び紙製品として利用することによって、可燃ごみの発生量を減少させる。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	従前よりリサイクル対象品として定着している古紙回収を集団的に行い、収集した量に応じて補助金を交付することによって、市民のリサイクル意識を高めること。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		985	774	1,045			
	事業費合計	千円		985	774	1,045			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
リサイクル率（資源化率）	%	実績値が目標値以上となること	目標値	12.8	14.6	16.4	18.2	20.0
			実績値	12.0（見込値）				
			達成率	93.8%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	・ 廃棄物再資源化のため、同事業に取り組む市町村は多く、社会的需要もあり、事務事業の優先度は高いものと考えている。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	・ 地域や各種団体活動の一つとして実施しているところも多く、廃棄物再資源化のみならず、地域の協働にも繋がっている。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・ 広報紙やホームページ等を活用することで制度の周知を図った。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市民のリサイクル意識を高めるため、本市のごみ排出量の現状を積極的に広報し、３Ｒの必要性を浸透させることで、ごみ減量化に繋げていく。